

令和4年度

高齢社会フォーラム

テーマ『高齢期のフレイル予防』

令和4年

日時

10/31(月)

13:00~16:30(会場12:30)

場所

名古屋市中企業振興会館
(吹上ホール)

同時配信

<https://youtu.be/s6dymXJqRZs>



高齢者が健康で長生きするためには、若い頃からの生活習慣を改善し、生活習慣病を予防することが重要である。また、高齢期における健康や社会とのつながりの喪失などにより食欲低下、栄養の偏り、筋力低下など加齢により心身が老い衰えた状態「フレイル」を予防することが重要である。

また、健康分野には歯や口腔機能の健康も含まれており、これら機能の低下はフレイルとも関連が強いことがわかっている。フレイル予防の基本形として「栄養」、「運動」、「社会参加」の3つの柱をいかに三位一体として底上げし、継続性をもたせ、健康長寿をサポートするかをテーマとして掲げる。

プログラム

- | | |
|--|------------------------------|
| ①12:30 受付開始 | ④14:10 内閣府による高齢社会に関する行政施策の説明 |
| ②13:00 開会挨拶(内閣府、愛知県、名古屋市) | ⑤14:20 基調講演 |
| ③13:10 表章式(エイジレス章及び社会参加章)
エイジレス・ライフ実践事例
及び社会参加活動事例の活動内容の紹介 | ⑥15:10 休憩 |
| | ⑦15:20 パネルディスカッション |
| | ⑧16:30 閉会 |

出演者



東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 機構長・教授

飯島勝矢

1990年東京慈恵会医科大学を卒業。東京大学高齢社会総合研究機構の機構長、未来ビジョン研究センター教授を兼務。専門は老年医学、総合老年学(ジェロントロジー)。

特に、健康長寿実現に向けた超高齢社会のまちづくり、地域包括ケアシステム構築、フレイル予防研究などを進める。

【ご経歴】

千葉大学医学部附属病院循環器内科入局(1990-1997)、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座助手、同講師、米国カリフォルニア州スタンフォード大学医学部循環器内科研究員(2002-2005)を経て東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座講師へ(2005-2016)。2016年より東京大学高齢社会総合研究機構(ジェロントロジー)教授に就任し、2022年より現職。

コーディネーター 東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 機構長・教授 飯島勝矢

パネリスト (50音順)



名鉄病院 院長
名古屋大学 名誉教授
葛谷雅文



京都大学 大学院医学研究科 社会疫学分野
教授
近藤尚己



東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科
准教授
徳永佐枝子



東京都健康長寿医療センター病院歯科口腔外科部長
研究所自立促進と精神保健研究チーム研究部長
平野浩彦